



女性単独。テント泊装備を持って登山。下山で尾根を間違えるも国道まで辿り着き、無事下山した。

バリエーションルート

国道まで辿り着いた

?

「コンパスでみると方向は間違いがなかったし、東京都水道局の作業用テープが張り巡らされていたので、違う尾根であれ、道はあると認識、そのまま進むことに。」

テント装備を持っていたので焦る気持ちはなかったものの、明日が仕事のため薄暗くなった中、ヘッドライトを点けて下山を続け、何とか無事に国道に出ることができた。(HP参照)

YAMAPでは登山道の表記がなされていないが、ヤマレコではうっすらと点々のラインが引かれている。所謂、バリエーションルート。下り道だと道迷いしやすい。この方は、地図アプリをスマホにインストールされていなかったようだが、登山者はスマホに地図アプリをインストールして山を歩くと現在位置が確認できる。

また、地図アプリの現在位置を家族にリアルタイムで伝える方法をご存じだろうか？例えば、YAMAPであれば「みまもり機能」、ヤマレコであれば「いまココ」機能を利用してほしい。が、地図アプリを使えば遭難が減少するとは限らない。むしろ、安易な遭難救助要請や安易な登山計画、行動が遭難数を増加させているのが現状といえる。